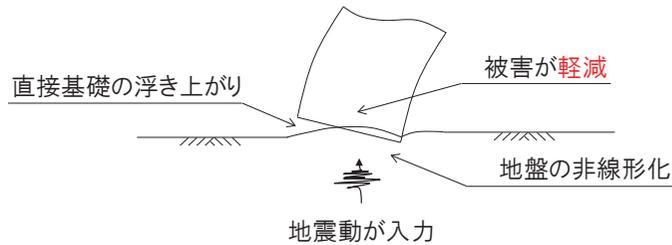




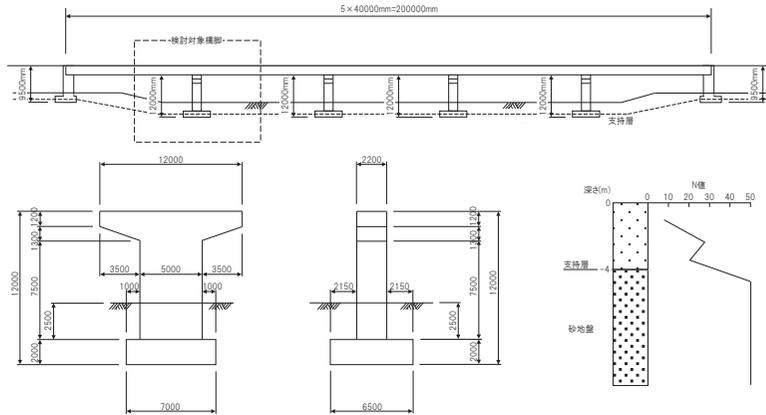
Faculty of Engineering
Tokushima University

道路橋へのロッキング免震の適用性に関する研究

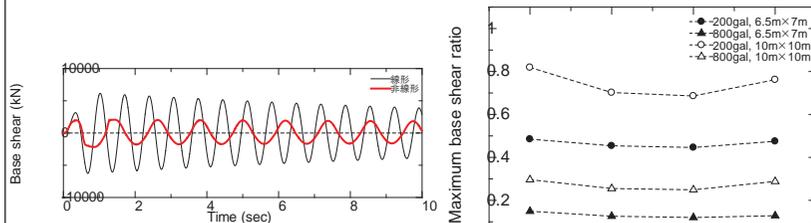
[キーワード: 道路橋, 直接基礎, ロッキング免震] 助教 井上貴文



ロッキング免震の概念図



検討対象橋梁



内陸地殻内地震に対する
ロッキング免震効果

ロッキング免震効果と内陸地殻
内地震の特性との関係

地震時における直接基礎の浮き上がりを許容することにより上部構造系の被害を軽減する技術をロッキング免震という。私は道路橋を対象としてその適用性を検討している。

これまで、ロッキング免震効果のメカニズムを明らかにするためエネルギー論的な観点から検討を行ったり、1995年兵庫県南部地震のような構造物の被害を考える上で重要である内陸地殻内地震に対してロッキング免震がいかに有効であるのかを明らかにするための検討を行っている。

今後、近い将来に高い確率で発生することが予測されており、重要インフラの耐震対策が必要であると考えられている南海トラフ地震に対してロッキング免震の有効性を検討したり、実務において用いることができるよう効果予測式を作成する予定である。

本研究の成果により道路橋にロッキング免震技術を適切に適用することが可能となり道路橋の地震被害軽減が期待される。

分野: 構造工学・地震工学・維持管理工学

専門: 耐震工学

E-mail: tinoue@ce.tokushima-u.ac.jp

Tel. 088-656-7324

Fax: 088-656-7324